

なら七口

大和郡山は、かつて豊臣秀吉の弟、秀長の居城があり、大和・紀伊・和泉100万石の中心でした。その後、本多氏を経て享保9年より譜代大名柳沢氏の領地となりました。当時は郡山城下が大変にぎわい、奈良町からも人々が移り住んだと言います。佐保川沿いに桜が植えられたのも、往来する人々の目を楽しませるためだったのでしょう。なお、奈良町から高野山に参るには、郡山から下街道の高田、御所、五條を通り、学文路(かむろ)から直接登るのが定番の道でした。

行程の目安 近鉄奈良駅

(おおよその直線距離で測定)
 起点
 ●近鉄郡山駅まで・・・・・・約8km
 ●高田市役所まで・・・・・・約25km
 ●近鉄御所駅/JR御所駅まで・・・・・約30km
 ●JR五条駅まで・・・・・約43km
 ●JR橋本駅/南海橋本駅まで・・・・約52km

●南海学文路(かむろ)駅まで ····・ 約57km

●高野山大門まで…… 約69km

奈良町は元野縁が深いんだ		中すらぎの道、ならまち大通りが ならまち大通りが 大きい道ができ 昔の通りがイメー だけど所々に 雰囲気が残って 禁	て、 ージしにくいね。
	 三条添川町 三条添川町 三条湾前 一三条宮前 「日本	のの道 ・大師の一点ではある。 ・大郎の一点ではある。 ・大郎の一点ではある。 ・大郎の一点では、「一点では、「一点では、「一点では、「一点では、」。 ・大郎の一点では、「一点では、「一点では、」。 ・大郎の一点では、「一点では、」。 ・「一点では、」。 ・「一点では、」。 ・「一点では、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	画り
	だと、大森町のJR高架の 西町 館 下で合流するよ。	* 16 出町 4 等	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
裏面	大安寺(12) 大安寺(四)		
奈良町 ごぎわいの家 から 約 8 km	三)	" 神 " " 数	
	平 57、 平 城京東市	北永井町	300m

出典:地理院地図に目印や線を追記して掲載

①三新屋

中新屋町・西新屋町・芝新屋町のこと。 古くは元興寺の境内地であったが、の ちに民家が立ち並び町となった。元興 寺の礎石や塔跡、小塔院などが往時を しのばせる。



辻子(ずし)は通り抜けのこと。白山権現を祀る神社の境内に、奈良市の指定保存樹イチョウが見える

③聖光寺

菊の御紋の瓦。幕末に山村御殿(円照寺)から門を拝受したという。

この付近のお寺の瓦を見るのも面白い

④鳴川町

寺が多く古い町で、お盆の供物を蓮の葉に載せるのはこの町から始まったとか、屋敷内に能舞台を持つ家もあったと聞く。

4-1 奈良市音声館

4-2 徳融寺

右大臣藤原豊成の旧宅跡に建築されたとされ、娘・中将姫はこの地で生まれ育ったという伝説がある。門の瓦装飾が見事。

4-3 奈良町からくりおもちゃ館

4-4 なら工藝館

⑤東木辻

日本でも有数の遊郭があった。 西鶴の好色一代男にも登場する。

⑥奈良漆器

春日有識の塗師。

奈良時代からの技を受け継ぐ。

⑦奈良市立済美小学校

明治6年創立。元は鳴川町の徳融寺、中辻町の紀州藩屋敷、陰陽町、そして現在地へと奈良町を歴転してきた。付近の旧名・瓦町の由来は、瓦屋が軒を並べていたため。この付近で瓦作りに適した土が採れたと云う。

⑧柳町

かつては柳の木があったという。郡山・法隆寺からの奈良への入り口で、「おん祭り」に参加する郡山藩・小泉藩が通った。

⑨杉ヶ町(するがまち)

南都八ヶ村の一つで、水田十余町歩におよんだ大きな地域。バス 道やならまち大通りが縦横に造られ、ビルが立ち並んだ。駿河町 と書かれたこともある。

⑪JR高架/道標

道標は西ノ京、法隆寺が読める。地元の人がまつる堂がある。

⑫大安寺村道路元標

大正八年に施行された道路法施行令に基づいて各市町村に一基ずつ設置された道路標識の一種。形状は地上の高さ60cm、一辺が25cmの角柱と定められていた。なお、この道は「京終停車場薬師寺線」。道沿いに旧家が並ぶ。

③大安寺旧境内

聖徳太子が平群に建てた熊凝精舎が草創といわれ、飛鳥の藤原京で百済大寺、大官大寺となり奈良時代に現在の地に移り大安寺になった。南都七大寺のひとつ。

13-1 杉山古墳

古墳時代中期の5世紀後半頃の築造と推定され、奈良盆地の平地部では数少ない大型前方後円墳。





平松(二)

奈良医療センタ △100

topics

●敵討襤褸錦(かたきうちつづれのにしき) <歌舞伎/文楽>

京都先斗町で舞妓をめぐって武士が殺さ れ、その敵討ちのため、春藤兄弟が大安寺 の堤に身を潜め往来する人々を見定めてい た。敵は郡山藩士にかくまわれていたので ある。岸田劉生も絵画にしたほど知られて いたが、最近は上演が少ない。

桜の頃に歩いたら

でも車に気を付けて!

七条町

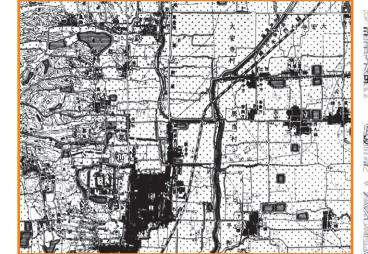
養護学校

最高ね!



田

(四)



出典:明治45年測量図 2万分の1正式図(国土地理院)

⑤佐保川の桜並木/川路桜

両岸約5kmにわたって1000本ほどの桜並木が続く。 桜は幕末に奈良奉行の川路聖謨(かわじとしあきら*)が 植えさせたと伝わる。その記念碑が猿沢池五十二段の

*大坂東町奉行や外国奉行を歴任。ロシアと交渉にあ たった。一橋派で、江戸開城の日に日本初のピストル自 決をした。

16高橋神社

この堤で歌舞伎のお話(右上)が 生まれた!?



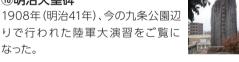
⑰奈良口

秋篠川を渡った東南 角に大灯籠と平城京 の位置を示す碑。こ

こより重厚な町家が並ぶ

18明治天皇碑

りで行われた陸軍大演習をご覧に なった。



⑲ハモト プチ ミュージアム/葉本家住宅

明治初期の建築。虫籠窓の分銅の印は両替商を示す。 江戸〜昭和の帳場や算盤、婚礼籠、輸入タイルが張られた 竈などを展示。表にはバッタリ床几が。

20菊屋

天正13年(1585)創業の菓子屋。羽柴秀長に連れられ

大和に来た本家菊屋の本店。 名菓・御城之□、菊之寿が有 名。昔ながらの店構えで板戸 を朝夕開け閉めしている。



②町家物語館/旧川本家

大正時代後期に建てられた遊郭建築で、間口も広く、 格式の高い豪壮な造り。この辺り洞泉寺(とうせんじ) 町は遊郭があった。

22源九郎稲荷神社

ここから柳町。

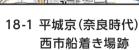
源義経が吉野に落ちのびた時、白狐が佐藤忠信に化け て側室静御前を送り届けた話が有名

②郡山城

大和郡山は大和盆地の交通の要所だった。秋篠川沿い の郡山街道が西大寺を経て木津まで通じ、佐保川沿い 五條に至る。羽柴秀長が入る前は筒井順慶の居城で、順 慶は信長の妹(または娘)を妻に迎えている。時代は 下って、戊辰戦争では新政府側についたため戦場にな らず、城下町時代の町割りをよく残した。

御箱本十三町

豊臣秀長の造った13町の月別当番制の自治制度では、 当番の町が特許状を入れた朱印箱を置き、「箱本」と染 抜いた小旗を立てて、全町の治安、消火、伝馬の世話を した。



柏 458.1

18-2 西市跡



19-1 道標

あれ?北へすぐ(まっすぐ) 大峰?道路工事後に現代の 感覚で向きを変えて再設置 されたのか?

突き当りを右(西)へ、一つ目 の角を左(南へ)



北之庄

地蔵

奈良町の柳町と郡山 の柳町を結ぶ道を

歩いて来たんだね。 高田口町日

七条東町

近鉄 郡山駅 Û

火の見櫓

柳町

出典:地理院地図に目印や線を追記して掲載

京詰めの郡山藩士

は龍馬を見知って

いたのかも・・・

七ロメモ

●郡山藩

柳沢15万石の譜代大名。総藩士数が3200人で、その1 割は江戸定府。江戸上屋敷(拝領屋敷)の敷地は丸の内に あり、初代の東京府庁となった。

柳沢家は甲斐国の出で、武田家の滅亡後徳川家に仕え、 徳川綱吉の側用人・柳沢吉保の嫡男・柳沢吉里が1724 年、国替えで郡山に入った。代々、文化にも造詣が深く、 吉里は「歌人大名」と呼ばれた。柳沢淇園(きえん)は文人 画家・漢詩人で、池大雅を指導したことで知られる。

●京都屋敷

郡山藩は、二条城の北、豊臣秀吉が築いた「聚楽第」跡 付近に京屋敷を構えていた。幕末ここに幕府の重職に ある永井玄蕃が滞在。大政奉還するよう彼を説得する ため、坂本龍馬は朝夕頻繁に来邸していたという。

●郡山の金魚

大和郡山名物の金魚は、甲府から柳沢吉里が持ち込ん で広めた。

令和

年

月

 \exists)

円

同行者

休憩場所

掛かった費用 交通費

発行: 奈良市伝統文化いきいき実行委員会 奈良町にぎわいの家管理共同体

文化弁

本事業は令和2年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)の補助を受けて実施しています。